

## 永年にわたる保護司活動

### 松浦 昇さん、徳江 良弘さんに法務大臣表彰

保護司の松浦 昇さん（中村）、徳江良弘さん（下横田）が、法務大臣表彰を受賞されました。お二人は、20年以上の永きにわたり、保護司として更正保護事業に尽力されています。

#### 徳江 良弘さん （下横田）

平成元年6月  
保護司に委嘱  
（勤続21年）



#### 松浦 昇さん （中村）

昭和63年6月  
保護司に委嘱  
（勤続22年）

### 岩田 一郎氏（前奥出雲町長） 全国表彰を受賞

前奥出雲町長の岩田一郎氏が、永年にわたる功績が認められ、各界から全国表彰を受賞されました。

#### （財）日本ダム協会会長表彰

「県政百年の大事業」、斐伊川治水の大事業である尾原ダム建設（平成23年春完成）の推進に尽力されました。

特に、水没関係者、議会ともにダム建設の反対期成同盟会が結成される最中、仁多町長に就任。県下流部の水害から守るため、関係者との話し合いを重ね、昭和61年2月、同意を取り付け、生活再建地三団地の造成、水没関係者（仁多町43世帯）の移転・補償に尽力されました。

#### （財）全日本剣道連盟表彰

昨年15回目を迎えた「中四国選抜中学校剣道大会」を平成8年から開催され、毎年中国四国の選抜校（男女48チーム）が競い、注目される大会にし、中四国中学生のレベルアップに貢献されました。

また、強豪校からの指導者の招聘、武道場の建設など環境整備にも力を注がれ、剣道振興に尽力されました。

#### 全国農村振興技術連盟大賞

旧仁多町において、6地区500haの県営ほ場整備、8路線27kmの基幹農道などの生産基盤整備を推進され、「島根米」から「仁多米」へのブランド化を強力に推進されました。さらに、情報通信基盤の整備を一体的に進める一方、横田開パイの荒廃農地解消のため、国での再整備補助金の創設、借入金無利子（県で負担）などに貢献されました。

### 岩田明人さん 精神保健福祉事業功労で 県知事感謝状を受賞

岩田さんは、町精神障がい者家族会設立準備委員会 地域委員として、同家族会や小規模通所授産施設の設立に貢献されました。

平成12年4月からは町家族会会長を務め、会員の意識調査の実施など、絶えず会員の声を大切に活動を行っています。



## スキー・スノーボードシーズン到来 三井野原スキー場開き

十二月二十三日、「三井野原スキー場開き」が、スキー場アシハラゲレンデ前で行われました。

井上町長をはじめ多くの来賓、地元観光協会や民宿経営者など約三十人が出席し、シーズン中の安全と大勢の来客を祈願しました。

出席者が玉串をささげ、来賓を代表して井上町長から「多くの人に愛され、地域の元気が出るようなスキー場になって欲しい」とあいさつがありました。

また、三井野原観光協会の鎌田繁会長は「スキー場の中にJRと国道がある好立地を活かして、多くの家族客などに来て頂き、活性化を図りたい」とあいさつされました。

神事の後は、餅つきが行われ、出席者につきたてのお餅が振る舞われました。

この日に積雪は無かったものの、翌日からの降雪で年末には滑走可能になり、多くの来場者で賑わっています。



期間中の安全と来客を祈願

### 三井野原スキー場 ゲレンデ情報

インターネット

<http://www.town.okuizumo.shimane.jp/miinohara/>

道の駅インフォメーション

電話：0854-52-3111

奥出雲観光協会

電話：0854-54-2260

### 人権擁護委員が 啓発活動



街頭啓発活動の様子

十二月四日から十日までの人権週間にあわせ、町内各所で啓発活動が行われました。六日には、役場仁多庁舎で一日人権擁護委員の任命式があり、仁多中学校生徒会長の糸賀悠平さん、ジュニアオリピック女子走高跳の金メダリストで、同じく仁多中学校の宇田川萌乃香さんに、松江地方法務局雲南支局の山本支局長から委嘱状が交付されました。

二人は、人権擁護委員と共に、役場庁舎内や町内事業所、ショッピングセンターなどで啓発活動を行い、人権意識の高揚を呼びかけました。

## 町内の小中学生が 「ふるさと教育」の成果を発表

町内の小中学生が、今年度のふるさと教育で取り組んだ学習活動の成果を発表する「ふるさと教育フェスティバル」が、十二月十二日、カルチャープラザ仁多で開催されました。

今年度は「ふるさとへありがとうの気持ち」を伝えよう」をテーマに、パネル展示やステージ発表などが行われました。

また、町内小学六年生を対象に行われている「たたら体験学習」について、山内祥弘さん（ADプランズ代表）をコーディネーターに迎え、五



パネル展示の様子

名の小中学生をパネラーとしたパネルディスカッションを行い、たたら学習で感じたこと、学んだことを話合いました。会場には、木原明村下も訪れ、子どもたちの話し合いを熱心に聞いていました。

子どもたちは、発表の方法や言葉づかいを工夫し、来場者に分かりやすく伝えるとともに、学習に関わった地域の人たちに感謝の気持ちを伝えようと、一生懸命発表に取り組んでいました。

来場者は、発表を熱心に聴き、頑張った子どもたちに大きな拍手を送っていました。



たたら学習についてディスカッション